

事務連絡

令和 8 年 1 月 15 日

各都府県建設業協会

事務局 御中

一般社団法人全国建設業協会

事業部

### BCAO アワード 2025 の募集について（情報提供）

平素は本会の活動に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

BCAO（特定非営利活動法人 事業継続推進機構）より、BCAOアワード2025の募集についてご案内がありました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、別添資料について、貴会会員企業の皆様へ情報提供を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 【添付資料】

別添 1\_BCAO 周知依頼文書

別添 2\_BCAO アワード 2025 募集要綱

別添 3\_BCAO アワード 2025 応募フォーマット

別添 4\_NPO 法人事業継続推進機構 概要

#### 【問合せ先・提出先】

BCAO 事務局 E-mail : [bc@bcao.jp](mailto:bc@bcao.jp)

TEL : 03-6231-1240

#### 【参考】

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 H P

<https://www.npobcao.org/>

BCAO アワード 2025 特設サイト

[https://www.npobcao.org/?page\\_id=13756](https://www.npobcao.org/?page_id=13756)

以上

(担当) 事業部 本多  
TEL 03-3551-9396  
FAX 03-3555-3218  
メール jigyo@zenken-net.or.jp

令和8年1月8日

一般社団法人 全国建設業協会 様

特定非営利活動法人 事業継続推進機構  
事務局長 平吾 かおり

拝啓 初春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

私共、NPO 法人事業継続推進機構 (BCAO) は、2005 年 8 月に中央防災会議の専門調査会（事務局：内閣府防災担当）が「事業継続ガイドライン」を発表したことを契機とし、日本の企業社会で事業継続を普及するために 2026 年に設立した団体です。こちらの website ご覧下さい。

<https://www.npobcao.org/>

この私共の活動の一環として、優れた事業継続の取組を行っている企業・団体を毎年「BCAO アワード」として表彰しております。こちらをぜひご覧ください。

[https://www.npobcao.org/?page\\_id=13756](https://www.npobcao.org/?page_id=13756)

私共 BCAO は、2026 年に設立 20 年を迎えることから、現在募集中の BCAO アワード 2025 では、下記の「20 年記念 BC 推進貢献賞」を募集しております。

+++++

過去概ね 20 年あるいはそれ以前から今日に至るまで継続して BC または BC につながる防災活動に取組み、BC の推進に貢献した企業・団体を「20 年記念 BC 推進貢献賞」

とします。自薦・他薦を問わず募集します。

+++++

一般社団法人 全国建設業協会様におかれましては、2006 年あるいはその後早い時期に、協会に加盟する各社・団体向けに、業界・会員の事業特性を反映した BCP のガイドラインの策定に取り組んでおられたものと存じます。

つきましては、一般社団法人 全国建設業協会様に加盟している会社・団体で、約 20 年前から現在に至るまで、企業防災や事業継続に継続的に取り組んでおられる企業・団体に、現在「20 年記念 BC 推進貢献賞」を募集中であること、そして該当するようであればご応募いただけるよう、お知らせいただけますと誠に幸いです。BCAO アワード 2025 の応募の締め切りは、2026 年 1 月末となっております。

年初のご多忙な時期でのお願いになり、大変恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

敬具

#### 同封書類

- BCAO アワード 2025 概要
- NPO 法人事業継続推進機構 概要

以上



# BCAOアワード2025 募集！

BCAO（特定非営利活動法人 事業継続推進機構）が  
「事業継続」の普及や実践に貢献された主体を募集します

## ◆趣旨

BCAOは日本での事業継続（以下BC）普及を目指し、各種活動を進めています。その一環として、BCの普及に貢献または実践された主体の表彰を行っており、2025年度の募集を行います。標準化・公開、普及等の活動や、調査研究・手法提案、BCPの策定、BCMの実施、人材育成、訓練、点検・改善等の実践を表彰し、その成果を広く知らしめることを目的とします。また、2026年にBCAO設立20周年という節目を迎えることから「20年記念BC推進貢献賞」を設け、過去概ね20年あるいはそれ以前から今日に至るまで継続してBCまたはBCにつながる防災活動に取組み、BCの推進に貢献した企業・団体を自薦、他薦を問わず募集いたします。（自薦・他薦を問わず募集する賞は他にもあります。詳細は後述します。）

- ◆賞
  - ・事業継続部門：大賞、特別賞、優秀実践賞、人づくり・訓練賞、優秀研究賞、普及貢献賞、奨励賞
  - ・防災部門：企業防災賞、企業防災特別賞、企業防災奨励賞
  - ・対応事例・人物部門：BC推進事例賞（または特別賞）、災害対応特別賞（災害には感染症も含む）
  - ・BCAO設立20周年記念部門：20年記念BC推進貢献賞

※大賞は原則1件とし、他は優れたものが多数あれば各賞の受賞者数を限定しません。

※部門の区分を特定しないで応募することもできます。

※他薦の場合には、表彰は当該主体が受諾していただけた場合に限ります。

- ◆応募資格 個人、企業、団体、（企業・団体の中の）部門など、応募主体に限定はありません。BCAOの会員である必要はありませんが、会員でない場合には会員の推薦が必要です。中小企業の方の応募も大いに歓迎いたします。なお、「20年記念BC推進貢献賞」は企業・団体を対象とします。

- ◆応募期間 2025年10月31日（金）～2026年1月31日（土）

## ◆応募方法および規定

- ・BCAOアワード2025応募フォーマットをダウンロードして使用し、フォーマットに示す項目を日本語で記載のこと。
- ・原則として日本国内の、または日本国内と連携した海外の活動、調査研究、実践等であること。
- ・原則として2014年度以降に成果や結果を得ていること。（ただし、BC推進事例賞（特別賞）、災害対応特別賞は1995年以降、20年記念BC推進貢献賞は、この限定はありません。）
- ・入賞した場合、表彰式後のシンポジウム、BCAO主催講習等での概要発表に可能なご協力を頂けること。
- ・選考に際して、事務局より問い合わせを行いますので、これに回答いただけること（他薦では問い合わせを行いません）。
- ・できるだけ多くの「公表履歴：ホームページのURLや投稿誌等」を明示すること（ただし、実践の場合および20年記念BC推進貢献賞には、公表履歴があることは必須の条件ではありません）。
- ・応募フォーマットへの記載（A4で5頁枚以内厳守）と補足の関連資料を、電子ファイル形式（PDFを推奨）にてe-mailで提出すること（5頁に収まらない取組みの詳細は補足の関連資料としてください）。

※手書きによるフォーマット記載や、郵送による応募は受け付けません（ご協力お願いいたします）。

- ◆提出先：BCAO事務局 E-mail: bc@bcao.jp (TEL: 03-6231-1240)

## ◆選考方法、基準等

- ・選考委員会を設置し選考します（委員はBCAOの理事長・副理事長・事務局担当理事・アワード担当役員・事務局長・アワード担当幹事等）。

- ・なお、選考の理由はアワード発表時に開示いたしますが、選外の場合の理由の開示・照会には応じられませんので、ご承知おきください。

- ・事業継続部門 :

- －BC の普及に向け社会的に最も影響が大きいと判断されたものを「大賞」
- －優れた取組みで特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」
- －優秀な BCP の策定・BCM の実施で範となるものを「優秀実践賞」
- －BC のための人づくり、訓練の手法の紹介や実践事例で優れたものを「人づくり・訓練賞」
- －BC に関する優れた研究成果を「優秀研究賞」
- －社会における BC の普及への貢献が顕著なものを「普及貢献賞」
- －今後の取り組みに期待できるものを「奨励賞」 とします。

これらの賞では BC に関わる成果を広く知らしめることを重視するため、公表履歴の多いものをより評価しますが、実践に関してはこの限りではありません。また、これらの賞で著作に対するものは、自薦・他薦を問わず募集します。

- ・防災部門 :

- －企業や企業を中心とする地域の防災への取組で有益なものを「企業防災賞」
- －社会の防災力向上に特に見るべき特徴のあるものを「企業防災特別賞」
- －企業防災に関して今後の取組みに期待できるものを「企業防災奨励賞」 とします。

- ・対応事例・人物部門 :

- －阪神・淡路大震災以降、最近までの事例で、BC の推進に顕著に寄与した事例（または人物）を「BC 推進事例賞（または特別賞）」、
- －災害（感染症を含む）等への優れた対応事例を「災害対応特別賞」 とします。

この部門の賞については自薦・他薦を問わず募集します。

- ・BCAO 設立 20 周年記念部門

- －過去概ね 20 年あるいはそれ以前から今日に至るまで継続して BC または BC につながる防災活動に取組み、BC の推進に貢献した企業・団体を「20 年記念 BC 推進貢献賞」とします。自薦・他薦を問わず募集します。

◆結果発表 2026 年 4 月下旬頃に、BCAO ホームページに掲載します。

◆表彰式 2026 年 5 月頃、開催の予定（開催方法は別途決定）

◆主催 特定非営利活動法人 事業継続推進機構

◆問合せ 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 10-2 日本橋フジビル 6 階 担当 平吾（ひらご）  
TEL : 03(6231)1240 FAX : 03(6661)9191

以上



A Specified Non-Profit Japanese Corporation  
Business Continuity Advancement Organization

# BCAO

特定非営利活動法人 事業継続推進機構



私たちは、企業や公的団体に対して、災害、事故、事件等のリスクの発生時における事業継続（BC）の取組みの推進に資する事業を行い、経済・社会的被害の軽減及び地域社会における災害・危機管理対策の充実を図り、もって、国及び各地域の安全・安心・発展に寄与することを目的とする団体です。

2006年に設立され、資格制度、表彰制度も実施している、わが国最大のBC関連の団体です。

競争力の向上につながる  
事業継続（BC）に  
取組みませんか？



特定非営利活動法人  
**事業継続推進機構**

# 01 これからの事業継続(BC)

## Message



理事長 丸谷 浩明

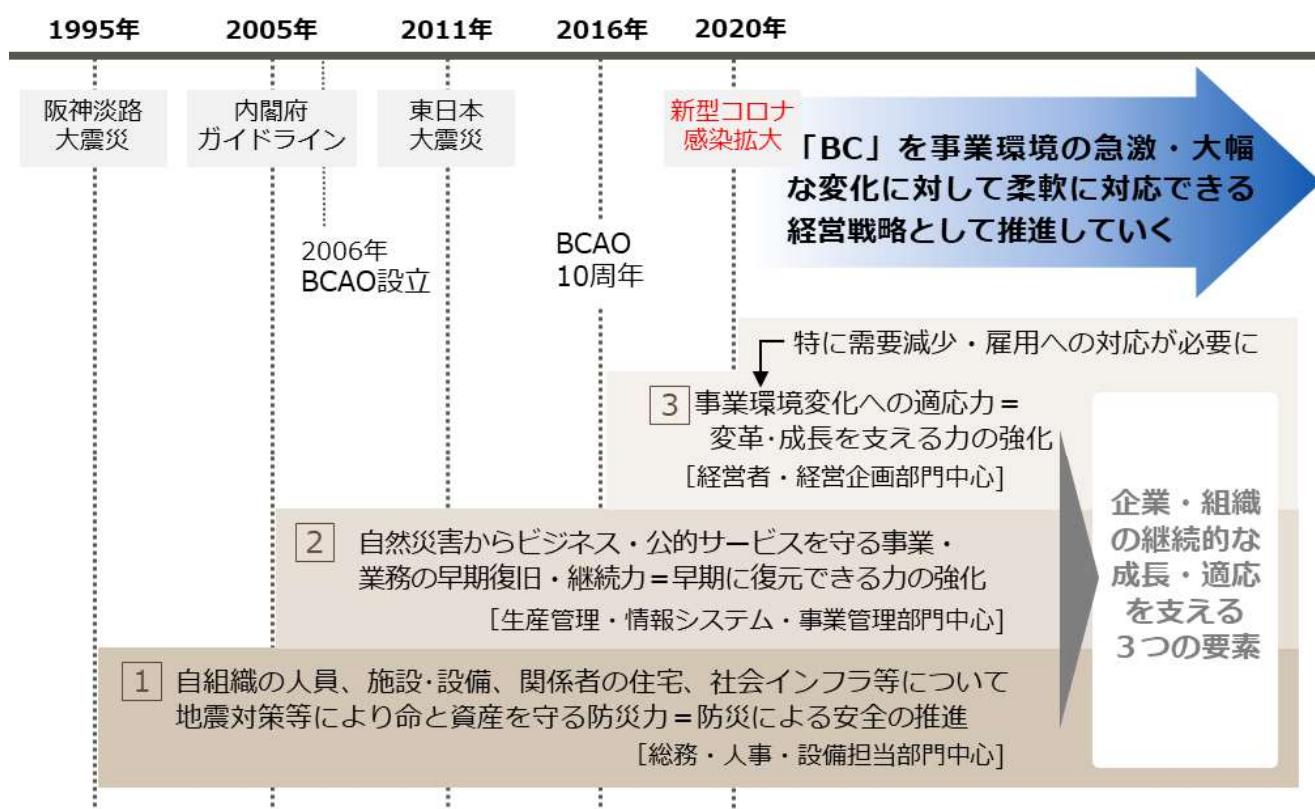
私たち事業継続推進機構（BCAO）は、事業継続計画（BCP）及び事業継続マネジメント（BCM）の普及啓発、専門人材の育成等を目的に、2006年から活発に活動を続けております。日本で最大の事業継続（BC）の推進組織であると自負しており、会員は企業・組織のBC担当者、BCの策定・改善の支援者、研究者など約2千名です。事業継続主任管理士など日本初のBCの資格制度を立上げ、優れたBCの取組を毎年表彰し、政府・自治体のBCの有識者会議でも多くの委員を務めてきました。

BCAOの設立後、日本は東日本大震災をはじめとする地震、激化する風水害に直面し、今日、新型コロナウイルス感染症への対応が急務となっています。

直接被害、サプライチェーン途絶などに加え、需要急減や雇用継続困難にも対応できるBCP・BCMが求められています。加えて、2019年に中小企業強靭化の取組が法律により強化され、認定企業の事業継続力の向上を図る役割をBCAOにも期待されています。私どもは、このようなBCにおける新たな節目を、企業、行政、大学等の幅広い皆様とともに乗り越えていく所存です。

BCAOは人や組織能力の開発とBCの実効性向上を重視し、内外の環境変化に対応する経営戦略の一つとしてBCを考えています。これらを実現する方法を、セミナーやワークショップ、演習、専門家育成講座などで発信しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

### ■BCAOの方向性



# 02 BCの課題と解決のあり方

## Solutions



### 企業のBCに関する課題・悩み

① 事業継続（BC）がなぜ必要なのか。既に災害対策を行っているのに？

② 経営者がBCの必要性を理解していない

③ 文書が膨大でメンテナンスが困難で、追い付かない

④ 新任者がBCの知識を短時間で習得できない  
引継ぎもうまくいかない

災害対策にとどまらないBCの有効性を理解してください。事業環境変化への適応力、成長を支える力を得ることも目的です。

→ a. BCAO標準テキスト／b. 講座

経営の視点から見たBCのあり方を他の優れた企業からも学びましょう。

→ d. 月例会・意見交換会  
e. 研究会・地域勉強会  
g. アワード

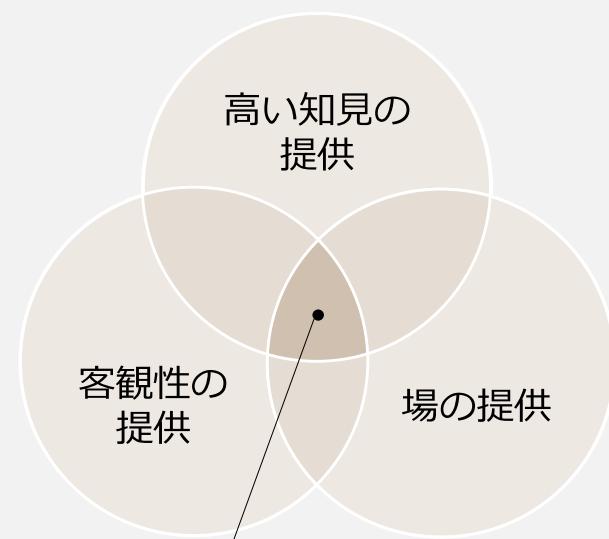
分厚い文書は必要なく、維持できる文書量が妥当です。むしろ、訓練や人材育成を重視すべきです。

→ b. 講座／c. 演習

新任者研修に、初級講座が活用できます。引継ぎには、継続的な維持・改善の仕組が必要です。

→ f. 専門資格制度／b. 講座

### BCAOが提供する価値



#### 高い知見の提供

競争力強化につながるBCの取組方法、効果的な演習、サプライチェーンや地域との連携のあり方などの専門家による高度な知見の提供

#### 客観性の提供

国内有数の専門家の知見に裏打ちされたBCの標準化と普及への積極的な貢献

#### 場の提供

研究会、月例会に設けられる意見交換会、継続教育等の会員同士の繋がる場の提供

これらの価値を「人づくり」で実現する

# 03 解決に向けたBCAOの活用例

## Activities



### a. BCAO標準テキスト

会員が組織とBCの概要について理解を深め、普及するための基礎資料です。初版以来版を重ね、会員の方は、常に最新の情報を会員専用ホームページからダウンロードできます。



### b. 講座／c. 演習

講座はBCP策定に必要な知識・スキルを着実に習得するための支援策として位置付け、座学だけではなくて、ワークショップを組み入れた内容となっています。演習ではBCに関する複数の訓練手法を学び、模擬体験することができます。



### d. 月例会・意見交換会

「月例会」は、月に一度のペースで、初心者を対象にした基礎的な内容から、最新のトピックや実務的な運用などの高度な内容まで、幅広くテーマを取り上げて第一線の講師を迎えて開催する講習会です。意見交換会は、会員同士の横断的な意見交換の場として開催しています。



### e. 研究会・地域勉強会

研究会は、会員同士が集まりBCの基本事項について研究する場であり、地域勉強会とは、地方在住・在勤の会員の方で、研究会にご参加することが困難な方たちが地域ごとに集まり、勉強や意見交換をする場です。

#### BC基本事項研究会

- ① 情報システム・バックアップオフィス研究会
- ② 災害情報研究会
- ③ BCP維持管理研究会
- ④ 事業環境変化に対して事業継続する研究会

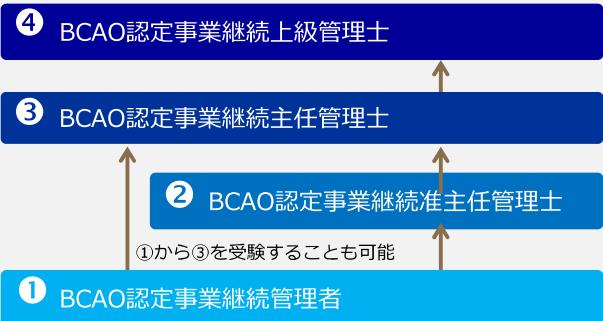


#### 地域勉強会

- 関西地域勉強会
- 静岡地域勉強会
- 名古屋地域勉強会
- 岡山地域勉強会
- 徳島地域勉強会
- 仙台地域勉強会
- 和歌山地域勉強会
- 北海道地域勉強会

### f. 専門資格制度

BCAOは、日本企業および公的組織の事業継続管理者および担当者の基礎知識の習得を容易にするため、また事業継続の実務経験者の専門性を向上させるために専門資格制度を構築しました。



### g. アワード

BCAOでは2006年から標準化・公開、普及等の活動や、調査研究・手法提案、BCPの策定、BCMの実施、人材育成、訓練、点検・改善等の実践を通じて国内でのBCの普及に貢献された組織・団体の表彰を行っています。アワードには、事業継続部門として大賞、特別賞、優秀実践賞、人づくり・訓練賞、奨励賞があり、防災部門としては企業防災賞があります。

